

筑波大学履修証明プログラム「教育実践研究プログラム」

令和7年度外部評価委員会 議事概要

1 実施日時

日 時 令和8年2月10日(火)13:20～15:20

開催場所 筑波大学 2A214

2 外部評価項目

(1)本プログラムの概要・経緯について

(2)成績評価・修了認定について

(3)今後の予定・課題について

3 外部評価結果及び今後の方策

- ・本プログラムの概要・設置について、本プログラムの設置の目的が明確である。その理由として、「理論・方法・探究」を柱とし、学校教育の現場で求められる「理論と実践の往還」に沿った講座内容となっている。
- ・主な受講対象者である現場の教員の職務環境においては、リカレント教育を受講するのが難しい状況がある。本プログラムにおいて、土日や夏季休業中に比較的短期間で自己能力を強化できる機会があることは評価すべき点である。
- ・受講者の職種別内訳についてはやや偏りがある。本プログラムは、教員や塾講師・家庭教師を含めた民間の教育産業従事者、社会施設職員等、様々な業種間での関わりを持つことで、受講者がさらに学びを深めることができるものになるため、引き続き広く周知することを要望する。
- ・今年度の受講者について、年齢層も幅広く、経験も様々であることから、研究テーマごとのグループに分けグループワークを実施した。個人の特質性をカバーし、個々の能力が活きるような指導上の工夫を続けることで、「筑波大学ならではの講座」としてさらに良いプログラムとなることを期待している。
- ・成果の指標については、数値化することが望ましい。受講後の受講修了者へのアンケートを実施し、受講後の状況等について把握することを提案する。

以上